

○高齢者福祉施策と介護者支援について

町の高齢者福祉施策については、近隣市町村に比べ充実していると考えられます。今年度は、高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画が策定中であり、きめ細かな対応でより一層高齢者福祉政策を充実させていく事に期待するところです。

町づくりプランでは、高齢化の進行と共に介護認定者の増加が予想される中、フレイル予防の意識付けが重要とされています。健康寿命を延ばすことで介護者の負担を減らすことにもつながると考え、下記の項目について提言します。

記

1. フレイル予防に向けた講座・教室の開催回数を増やし、参加しやすい内容を提起すると共に、周知、啓発を図ること
2. 介護を余儀なくされる家庭の相談窓口の充実と、介護を抱える家庭の交流が図れる環境を整備すること

○入学時の負担軽減を図るための支援について

高森町の第7次振興総合計画では、「子育てしやすい環境の実現」を子育て施策分野の大きな目標として掲げ、「家庭が安心して自信を持って子育てができる」ことを、施策の目的の一つとしています。

「家庭が安心して自信を持って子育てができる」環境を作るその一つとして、子育て世代の経済的負担を軽減することが必要と思われます。

子どもの成長過程においては、入学時の準備費用が段階的に必要になり、子育て世代には大きな負担になっています。よって下記の項目について提言します。

記

1. 切れ目ない子育て支援として、小中学校入学時の負担軽減を図るため、入学祝い金を給付すること

高森町と高森町議会は、2021年に共同で「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。また、本年度には環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」に選定され、さらに、9月には「カーボンニュートラル推進連絡協議会」も発足しました。これら「高森町での温暖化対策事業」は、本格的にその取り組みがスタートしています。そこで、産業建設常任委員会では次の各項目について提言いたします。

○農業分野における CO2 削減に向けた取り組みについて

農業分野については、農産物生産や家畜飼育等において排出される CO2 削減が「カーボンニュートラル」に大きく関係している。国では、「緑の食料システム戦略」（令和4年4月）が成立した。高森町でも基幹産業である農業において、CO2 排出削減に向けた具体的方策や先端技術等に関わり、下記の項目について検討を進めることを提言します。

記

1. 農業用ハウスの冷暖房等に関わり、その CO2 削減に向けた有効な先端技術について検討すること
2. 農産物生産や家畜飼育で排出される CO2 の削減について研究を深め、堆肥や緑肥・農業廃棄物・耕作方法等について検討を進めること

○小水力発電についての更なる事業への取り組みについて

令和5年度の重点事業において、「（7）再生可能エネルギー利用促進事業」の一環として県企業局と連携し大島川での小水力発電の実現可能性調査を開始した。このことを受けて、今後の小水力発電事業に関連して下記の項目について提言します。

記

1. 「CO2 削減」は、これからの時代を背負う子どもたちにとっては非常に大切な課題である。生涯を通して「CO2 削減」に関心を持ち、自らの手で取り組む町民を育てることが望まれる。そのための基礎知識として、水流から電力を発生させる仕組みを学ぶことが出来る子ども向け小水力発電施設を「時の駅」横の河川に設置すること
2. 小水力発電施設の建設資金として多くの経費が必要となる。町民の意識高揚を兼ねて「町民公募債」の導入に向けて検討を進めること